

2022
10/29日

7

シーパスパークワークショップ STEP:7 よりよく運営するための公園の コンセプト・仕組みづくりを考えよう



2023年にオープン予定の シーパスパーク 運営のコンセプトやルールを 考えるワークショップ!

2022年10月29日に、シーパスパーク完成後によりよく運営していくため、「公園のコンセプト・仕組みづくりを考えよう」というテーマでワークショップをおこないました。ワークショップは、市民有志の皆さんが中心となったシーパスパーク・クラブに、企画・運営・ファシリテーションを担当していただきました。

はじめに、シーパスパークの設計者であるE-DESIGN 忽那さんから、市民主導による公園運営の参考となる事例として、草津川跡地公園の市民活動「くさねっこ」の紹介をしていただきました。

その後、参加者は各グループに分かれ、よりよい運営を目指し、「泉大津らしい公園」を認識してもらうためのコンセプト、さらに「公園の活動に参加するメンバーがそれぞれの活動を応援できるような仕組みづくり」をワークショップ形式で考えていきました。

シーパスパーク クラブメンバー募集!

令和5年度完成予定のシーパスパークは、市民が使いこなし、自らつくり上げていく公園です。あなたのやってみたくことを新しい公園で実現してみませんか?ぜひ下記のQRコードを読み取っていただき、ご登録ください!



次回のワークショップは 2023年1月28日、テクスピア大阪にて!新たにできる公園の「運営・仕組みづくり」のワークショップが続いていきます。どなたでも随時参加できます。興味がある方は、こちらの活動ページをチェック!



←活動ページ

シーパspark ワークショップの流れ

- ステップ 1 9/25 | キックオフ!
- ステップ 2 11/13 | (仮称)小松公園プレフェス!
@公園予定地
- ステップ 3 2022 1/15 | プレフェス振り返り・
次年度の活動企画
- ステップ 4 3/12 | 2022年4月30日に実施する
フェスの準備
- ステップ 5 4/30 | 「完成待てない!
新しい公園に向けてのフェス!」
- ステップ 6 7/23 | シーパsparkワークショップ
- 今回 ステップ 7 10/29 | よりよく運営するための公園の
コンセプト・仕組みづくりを考えよう
- ステップ 8 12/10 | 公園工事に参画!
緑化活動など
公園をつくる作業
に参加しよう!
- ステップ 9 2023 1/28 | 大フェスに向けた
ワークショップ
- ステップ 10 未定 | シーパspark 大フェス!
@公園予定地

くさねっこを楽しむための5つの作法

- 1 みんなでつくる
例え
それぞれの個性、多様性を認め合おう
誰もが安心して楽しめる場にしよう
助け合ったり、協力したり、コラボレーションを大切にしよう
- 2 暮らしをちょっとよくする
例え
ワクワクする気持ちと笑顔を広げよう
困りごとをみんなで楽しく解決しよう
美味しいお茶の時間を楽しむような日常を演出しよう
- 3 チャレンジする
例え
できない理由を探すより、できる工夫を発明しよう
自分や仲間、そして誰かの夢を応援しよう
日々の活動の延長線上でほんの少し挑戦してみよう

ワークショップ開始!!!

事例紹介 「草津川跡地公園」 くさねっこの紹介

まずはE-DESIGN忽那さんから、草津川跡地公園の事例紹介です。草津川跡地公園から広がる市民活動のことを「くさねっこ」と呼んでいます。公園ができる前のワークショップなどで市民のみなさんと「公園のコンセプト(この公園で大切にすること)」、「市民活動の作法(お互いの活動を応援しあえるようなルール)」をつくりました。以下の画像は、その「コンセプト」と「作法(ルール)」です。

くさねっこの3つのコンセプト

- 1 Together みんなの想いが集う場にしよう
誰もがいつでも、ふらっとみらくさをするようにここを訪れる、自然と足が向いてしまう場所。みんなが思い思いに時間を過ごす。のんびりすることも、みんなでわいわいすることも。だれかがいついいるから、友達ができたり、趣味がみつかるかもしれない。今度ここに来たら何をしようか、みんながいつも考えてしまう、そんな身近な場にしよう。
- 2 Symbol 新しい草津のシンボルにしよう
川の跡地を使ったこんなに細長い公園はなかなかない。草津にしかないこの空間を、次代の子どもたちに自慢できるような場所へ、新たな市民活動の種はまかれたばかり。これから次々に芽を出し、花を咲かせていく。そしてここに来たら、草津に来たなって思える。そんなみんなの記憶に刻まれた草津のシンボルとなる場にしよう。
- 3 Raise 草津の自然や文化の種を大切に育てよう
子どもだって、おとなだって新しいことを学ぶときほどときどき、ワクワクするもの。ここに来れば、そんな体験がたくさんできる。草津川から始まった歴史や文化、自然を学んだり、絵を描いたり、写真を撮ったり、少し芸術に触れたり。でもそれは背伸びしないでもできるもの。それぞれ自分の好きなカタチを目指せばいい。そんな学びの場にしよう。

- 4 出会うの場をつくる
例え
陽だまりとそよ風のあるところに集まろう
会話がうまれる工夫をしよう
笑顔であいさつを交わそう
- 5 草津らしさを大切に
例え
草津らしさって?みんなで語り合おう
草津の魅力を探そう、伝えよう
「魚がば回れ」ちょっと一服してみよう

column
「魚がば回れ」の言葉が生まれたのは、現在の草津市矢橋町のあたりです。語源は、宗長(安政時代の遠征船)の歌「ものふの矢橋の船は遅けれど魚がば回れ瀬田の長橋」。当時、京都へ向かうには、矢橋から瀬上を舟で大津に行くか、瀬田の唐橋(長橋)を回って陸路に行くかを患えたこと由来です。舟で渡る方が近くて速いのですが、比叡山から吹き下ろされる東風(比叡おろし)により危険な航路であったため、天候次第で舟が使えないことを考慮すれば、時間がかかっても陸路の方が安全で着実だったので。

出典:『くさねっこブックー草津川跡地公園から広がる市民活動』

グループワーク ①

「運営のための公園のコンセプト」を考えよう

シーパsparkを将来どのような場所にしていきたいか、理想とする泉大津らしいコンセプトを各グループで話し合われました。その後各グループのリーダーが全体に話し合いの内容を共有しました。



いただいた主なご意見はこちら!

- ◎繋がり
 - 子供から老人まで全ての人々が楽しく集える場所を作る
 - 子供と大人と一緒に楽しめる公園
 - 老若男女が楽しめる場所
 - みんなで気楽に集まれる場所(老若男女、外国人、障害者)
 - 異世代間交流
 - 様々な世代が触れ合える
 - コミュニケーションの場
 - 新しい出会いの空間
 - ご縁を紡ぐ環境づくり
 - 思い出が繋がる場所
 - つながる
 - 共生
 - 手をつなごう!シェークハンド 泉大津
 - 集って感じてシーパspark
- ◎イベント
 - 休日には何かがある
 - とにかく行ったら楽しいと思える何かがある公園
 - フェスのできる公園
 - おもしろい場所!いろんなことができる場所!(音楽、ダンス、キッチンカー、散歩、読書等)
 - フェス
 - NO FES NO IZUMIOTSU
- ◎笑顔
 - 笑顔
 - 笑顔あふれる空間
 - とりあえず笑いあう
 - 笑いあいたい
 - 笑い声が響く場所にしよう
- ◎泉大津らしさ
 - おづみんの「すみか」をつくろう
 - 毛布のまちで紡ぐ人の人の輪
 - 誰もが「かちあう」場所に
 - みんなで羊を育てる
 - 市のシンボル
 - 毛布のようにあったかい公園
 - のん STRAY (まよえる) SHEEP
- ◎繋がり
 - 海風と太陽が注ぐ公園
 - 自然文化の種
 - ハートフルクラブ、心温まる憩いの場
 - ゆっくりできる公園
- ◎安心安全
 - 老若男女安全に集まれる
 - 華やかな公園、暗くない、怖くない
- ◎音楽
 - 音があふれる 音楽とか自然音 笑い声とか
 - 音があふれる(笑い声、音楽、自然音)
- ◎主体性
 - 誰でも楽しめる、みんなが主役になれる
 - 誰でも主役になれる
 - 市民でつくり続ける公園
- ◎子ども
 - 子どもがワイワイできる
 - 子どもたちが考えてつくる
 - 子どもが大声を出せる公園
- ◎自然・いきい
 - 木を育てる
 - 四季を感じられる公園
- ◎見守る
 - Sustainable,smile,star
 - はい!喜んで
 - 目立つ
 - ホスピタリティ
 - 今まで(泉大津)にない
 - みんなの帰る場所
 - つるむ
 - みんなが行きたくなる PARK
 - めーでの名前を消さないで
 - ゴリラさんパーク
 - 落書きができる公園
 - 人間はなぜいきているのか
 - 安く個展を開けるようにしてほしい
 - ええ公園
 - 公園っぽい公園
 - 公園らしい公園
 - コンセプトとは
 - 公園とは
 - 公園で公園っぽく公園だ
 - 想いが集う場所
 - 古いものと新しいものがうまく混ざり合える場所
 - 日常の中に非日常空間
 - ジンギスカン
 - うめえ~
 - イッサイガッサイ泉大津
- ◎その他
 - 公園のある暮らし

グループワーク 2

「公園の仕組みづくり」を考えよう

グループワーク2:「公園の仕組みづくり」では、シーパsparkで実施していききたいさまざまな活動をお互い応援しあえるようなきっかけとなるように話し合われました。その後各グループのリーダーが全体に話し合いの内容を共有しました。



いただいた主なご意見はこちら!

●ルールづくり

- みんなで手入れ(掃除など)
- 公園内自由に路上パフォーマンスOK(禁止しない)
- ネガティブワードNG
- 自分たちでルール作り
- みんなで守る
- 誰でも使える
- いつでも使える
- 気軽に利用できる
- みんなが平等に
- ケンカしない
- 安全
- あいさつ
- みんな友達
- こどもがなにかしてもおこらない
- どの年代も楽しめる
- みんなできれいに保てる
- スローガンを決める“夢あふれる公園”等
- みんなの公園づくり 草花を植えて親・しくなる友達作り
- みんなが挨拶する
- 公園では笑顔
- 大人しかきめていけない公園はおかしい
- これやってもいい?と親に聞かなくても子供が自分で考えて動ける場所
- ゴミ一つない公園(ごみをみんなで拾う)
- 知らない人にも挨拶はする。そこから何か生まれる
- ルールがないのがルール ルールは子供が作る

- 楽しく過ごすためのルールを自分たちで考える
- 目があったら「こんにちは!」
- 声を掛け合える雰囲気
- 全員が協力できる場所にしたい

●仕組みづくり

- 出したら直す(設備・道具を自由に使える仕組みづくり)
- 出店、使用するときどこに問い合わせるかわかりやすくする
- イベント参加者から公園維持費として寄付してもら(金額は使用者の気持ち)
- たくさんの団体と市民が集いつの事業をする
- 今までの泉大津の歴史や団体が実施した事業の思い出を共有する
- 参加者同士のコミュニティ作り
- 緑の大切さを勉強できる
- あそぶ道具の貸出
- 自転車と徒歩の区分
- ポジティブ発想主体の会議
- ボランティアガードマン
- 手続きが簡単
- 出店料がお手軽
- 公園の入口にパス、お支払いしたらもらえる

●にぎわいづくり

- 土日祝はイベント DAY
- ステージイベント
- だんじりセレモニー 紙吹雪
- おどっちゃおー!泉大津

- ダンスワークショップ
- ダンスサミット
- 盆踊り
- マルシェ
- ドライブインシアター
- フェス
- 四季を通じて季節を感じれるイベント
- 月に一度おづみんと会える日を作る
- 結婚式をして、子供ができてもずっと思い出になる
- ○月はフェス月間とか地域の団体の発表の場とするとか
- 定期的な活動
- なぞとき
- NEW スポーツの拠点
- 自転車レンタル(二人漕ぎのやつ)
- アスレチック
- クライミング
- BBQ 施設
- スポーツ教室
- WEBマスメディアでの呼びかけ
- ペットものびのびできる
- 市内外に認知してもらう
- ギネスに挑戦
- 大宴会(BBQ、カラオケ)
- 盆踊り
- モルック大会
- キノコ祭り(特にキクラゲ)
- 毎日鬼ごっこをやっている
- 公園に行くと公園みたいに笑顔になる
- くつろげる癒される
- 今の子供たちが知らないあそび方を年配の方は知っている!コ

コミュニケーションの公園

- 総理が遊びに来るくらいの公園
- 大統領が遊びに来るくらいの公園
- 食べれる公園
- 映えスポット
- パワースポットやオブジェクトを作る
- 結婚式
- 市民参加の運動
- 花火
- 星を見る会(老若男女が参加できる)
- グランピング
- 小さな子供たちがまったりできるスペース
- ジンギスカンが食べれる場所をつくる
- (施設、フェスステージ)バリアフリー
- 外国の方と安全に楽しく触れ合えるイベント
- スーパー銭湯
- 足湯
- ゆるキャラグランプリ

●その他

- 季節を感じれる
- だんじり詰所つくりたい
- バリアフリー
- 公共交通機関の活用、バス停作る
- 本棚
- 公園みたいに生きることができる公園
- 一緒にやれる目標がある共同作業に挑戦する
- タイムカプセルをうめる
- シンボルツリー

